

スーパーシティ構想の施行準備に向けて

2020年6月5日

竹中平蔵、原英史

- 1、スーパーシティは、革新的な規制改革の枠組みでなければならない。コロナ対応でのデジタル化の推進、スマートシティの推進と混同されることのないよう、自治体・民間の関係者に改めて明確にすべきである。
- 2、区域の選定基準はスーパーシティの本旨に沿って明確に定めるべきである。いたずらに複雑な選定方式とすべきではない。
- 3、区域の選定は、以上を前提に十分な検討を経て行われるべきであり、不用意に数を示すべきではない。
- 4、住民合意の枠組みについては、懇談会において早急に検討を深める必要がある。
- 5、コロナ下で、これまでは困難だった多くの取組が進展しつつある。これを加速して実態を先行させることに力を注ぐべきである。